

伊市議だより 賀会

No.67  
2021.11.1

地域のふれあいと  
子どもたちの笑顔のために

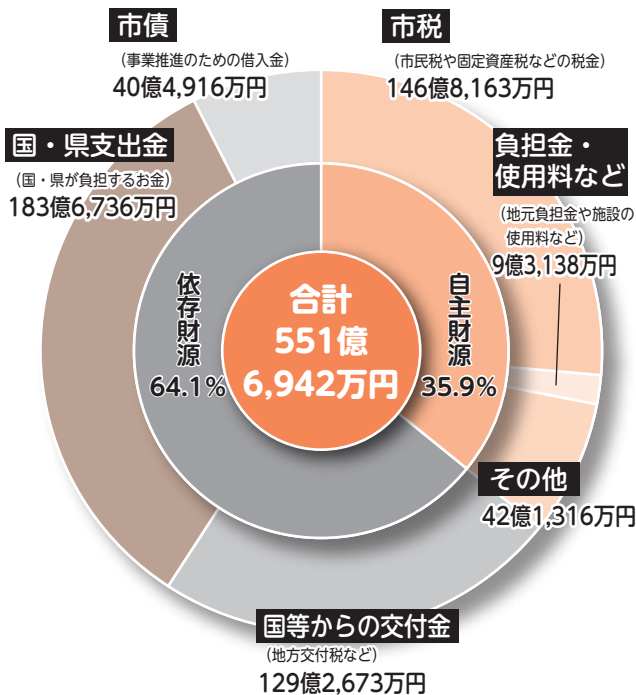


# 令和2年度決算 どんなことに使われたのか

**一般会計歳入歳出差引残額 11億206万円**  
うち実質収支 8億7,838万円 (翌年度繰越財源 2億2,368万円)

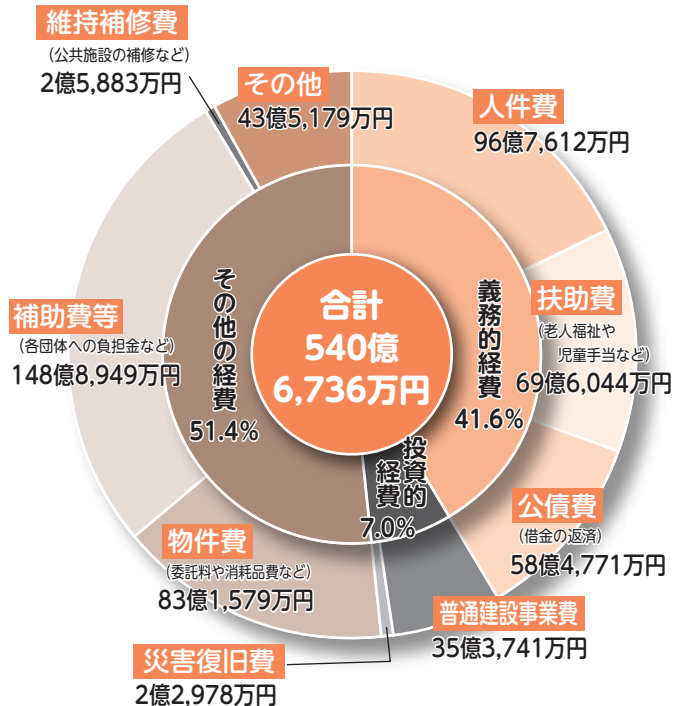
## 一般会計歳入決算の内訳

(万円未満四捨五入)



## 一般会計歳出決算の内訳

(万円未満四捨五入)



## 総括質疑 (委員会)

### 一般会計

- 問** 新型コロナウイルス感染症対策支援事業の成果と評価は。
- 答** 新型コロナウイルス感染症に対する支援をパッケージ化し、5つの方針で必要な事業を実施しました。給食費無償化、GIGAスクール推進、プレミアム付商品券発行、水道基本料金の減免などを行い、市民の生活を守りつつ、地域経済の活性化に努めました。また、新しい生活様式に対応していくための事業も実施できました。
- 問** 「伊賀市人材育成基本方針」にある「目指す職員像」の実現・実行に向け、各種研修に関する予算の費用対効果は。
- 答** 伊賀市職員研修推進計画により研修を実施し、研修受講者の復命や、受講後のアンケート、所属長の評価から効果を測定し、研修内容の見直しや充実を行っています。

### 水道事業会計

- 問** 上下水道技術職員を増員し、長期的な視点を持って技術継承を行う必要があります。令和2年度はどのように取り組みましたか。また、今後の課題は。
- 答** 上下水道技術職員については、土木・機械・電気・化学等の学歴や職歴をもった人材が必要です。昨年度から上下水道技術者として若干名の募集を行い、令和3年度は1名採用しました。また来年度からの職員募集においても、超過勤務の削減など法令遵守の環境を整備し、技術職員の若返りや技術の継承を図っていきます。
- 問** デジタル技術活用の検討状況と今後の方向性は。
- 答** 上下水道料金のシステムの一元化を行い、納入通知書のデジタル化、また各種上下水道事業の事務の手続きによるデジタル化等を検討しています。

# 一般会計 540億6,736万円の成果を審査・認定

無駄な事業や問題点がなかったか。来年度予算編成に生かせるよう決算常任委員会に3つの分科会を設けて審査し、本会議で賛成多数により認定しました。(決算審査の詳細は4ページ参照)

※端数処理の関係で、決算書の数値と一致しない場合があります。

## 基金(預金)

(万円未満四捨五入)

●一般会計	残高	148億7,370万円
●特別会計	残高	10億2,949万円
●財産区	残高	3億7,119万円
〈合計〉	残高	162億7,438万円
	(対前年度比)	+3億 869万円)

## 市債(借金)

(万円未満四捨五入)

●一般会計	残高	532億5,753万円
●特別会計	残高	790万円
●企業会計	残高	278億 382万円
〈合計〉	残高	810億6,925万円
	(対前年度比)	-27億2,634万円)

## 令和2年度決算のあらまし(万円未満四捨五入)

## 監査委員の意見要旨

### ◆一般会計

歳入	551億6,942万円 (対前年度比 92億151万円増) 主な要因 国・県支出金の増	歳出	540億6,736万円 (対前年度比 90億1,869万円増) 主な要因 補助費等の増
----	---	----	---

### ◆特別会計

	国民健康保険事業	住宅新築資金等貸付	駐車場事業
歳入	89億3,267万円	1,634万円	3,189万円
歳出	90億3,046万円	6,557万円	3,189万円

	介護保険事業	後期高齢者医療	サービスエリア
歳入	112億1,242万円	12億7,516万円	822万円
歳出	107億5,595万円	12億6,124万円	772万円

	財産区(2会計)
歳入	5,408万円
歳出	5,063万円

### ◆公営企業会計

		病院事業	水道事業	下水道事業
収益的収支	事業収益	46億9,886万円	34億4,715万円	26億5,025万円
	事業費用	44億7,386万円	31億4,992万円	22億7,052万円
資本的収支	資本的収入	4億9,438万円	5億8,471万円	8億7,735万円
	資本的支出	5億6,860万円	19億2,880万円	16億2,117万円

### おおむね適正な執行状況であると認められる

国民健康保険事業特別会計の直営診療施設勘定診療所費及び住宅新築資金等貸付特別会計は、本年度も赤字決算となったが、一般会計をはじめその他の特別会計はいずれも黒字決算であり、地方公共団体財政健全化法に基づく財政健全化判断比率においても、国の定める基準を十分クリアしており、堅実な財政運営に努めていると認められる。

歳入については、債権管理条例に基づく債権回収の取組みの結果、保育料を除き収入未済率が低下しており、引き続き、公平公正の観点からも厳格な管理、執行をお願いしたい。また、債権管理課が令和3年度末に廃止が予定されており、今後の債権管理について、より効率的に回収が行えるよう組織改善に取り組んでいただきたい。

歳出については、より一層業務の効率化を図るため、デジタル技術の活用をさらに検討していただきたい。また、同一施設内における会計年度任用職員について、類似する業務を行っている場合には、業務分担の見直しや時差出勤を導入するなど、人件費の削減に努められたい。

(監査委員 鈴木陽介・川上善幸)

## 審議した議案と各議員の賛否(決算)

○：賛成、×：反対、－：採決に入っていません。

件名	賛成： 反対	議決結果	金井	北山	西條	西田	濱瀬	増田	森中	川上	北森	西口	福岡	宮崎	桃井	山下	市川	赤堀	田中	上田	近森	中谷	百上	中岡	
			敏行	太加	エリ子	方計	達雄	雄	秀哲	善幸	徹	和成	正康	栄樹	弘子	典子	岳人	久実	覚	宗久	正利	一彦	真奈	久徳	
市長提出議案 令和2年度伊賀市一般会計歳入歳出決算の認定	19：2	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
市長提出議案 令和2年度伊賀市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	19：2	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
市長提出議案 令和2年度伊賀市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	19：2	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

### 全員賛成で認定した議案

市長提出議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定</li> <li>令和2年度伊賀市サービスエリア特別会計歳入歳出決算の認定</li> <li>令和2年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計歳入歳出決算の認定</li> <li>令和2年度伊賀市病院事業会計決算の認定</li> <li>令和2年度伊賀市下水道事業会計決算の認定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度伊賀市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定</li> <li>令和2年度伊賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定</li> <li>令和2年度伊賀市大山田財産区特別会計歳入歳出決算の認定</li> <li>令和2年度伊賀市水道事業会計決算の認定</li> </ul>
--------	--	--

# 質 疑 (分科会)

## 総務分科会

### 環境保全負担金 (一般会計歳入)

**問** 環境保全負担金が増加した理由は。

**答** 豪雨、台風により、災害廃棄物が増えたことや、他所で新型コロナウイルス感染症の影響により搬入が停止された分が伊賀市に搬入されたことが主な理由です。

※環境保全負担金：市外の一般廃棄物を市内に搬入する場合、一律1トン当たり1,000円の負担金を徴収しています。

### スマート自治体推進事業

**問** スマート自治体推進事業のRPA導入について、どのような事業にどのような効果があったのか。

**答** 一例として、昨年度は軽自動車の新規・廃車登録システム入力に活用し、405時間かかっていた入力作業が108時間に削減されました。

※RPA：人間がコンピューター上で行っている定型作業をソフトウェアやロボットで自動化すること。

## 教育民生分科会

### 教育振興一般経費

**問** 「あぶない」などの注意喚起看板の作成や設置に関する状況は。

**答** 学校やPTAからの要望に沿って、教育委員会で看板を作成し、学校が設置しています。また、古くなったものに関しては、随時交換しています。

### 国民健康保険事業 (特別会計)

**問** 国民健康保険税が未納になり、資格証明書を交付する際、どんなデメリットがあるのか、事前に説明されているか。

**答** 十分に説明したうえで交付しています。

## 産業建設分科会

### 雇用、勤労者対策事業

**問** 勤労者住宅・生活資金融資貸付金の実績と今後の方針は。

**答** 平成30年度は9件、令和元年度は11件でいずれも住宅資金として融資を行いました。令和2年度はコロナ禍で返済計画が立てづらいなどの理由から0件でした。今後は、連携する金融機関とメニュー改善など協議したいと考えています。

### 道路維持経費

**問** 市民、自治協及びPTAなど各種団体から要望が出されている道路等の改善状況は。

**答** おおむね5割から6割程度は改善できていると思われますが、人件費や資材費の高騰及び高齢化による地域での管理が困難となる箇所が増加するなど、同じ予算で改善できる箇所や割合は毎年度減少しています。今後は、補助事業や起債事業等の新たな財源も確保しつつ維持管理に努めていきます。

8月臨時会

8月17日  
補正予算1件の議案を審議

## 一般会計補正予算 (第5号) 4億9,385万3千円の増

全員賛成で  
可決

コロナ禍で疲弊した市内経済の活性化とマイナンバーカードの普及を目指すことを目的に、マイナンバーカードの交付を受けている市民、令和3年12月28日までに交付を受けるか集団申請会場で新規申請をされた市民に対し、市内で使える「地域振興券」5,000円分をプレゼントするマイナンバーカード連携地域振興券発行事業などの予算を計上します

### 【補正予算の主なもの】

#### ●マイナンバーカード連携地域振興券発行事業

マイナンバーカード発行に必要な臨時申請窓口の会場借上費や人件費等  
地域振興券発行にかかる補助金等

4,414万円  
2億7,490万3千円

## 質 疑 (委員会)

**問** 社会的弱者でマイナンバーカードを取得したくてもできない方への対応は。

**答** 内部で協議をし、できる限り対応していきます。

**問** 地域振興券の見込まれる経済的効果などは。

**答** 1.1倍の経済効果を試算し、地域のお店や商品を知ってもらうきっかけとなることも期待しています。

**問** マイナンバーカード発行目標5万件の根拠は。

**答** マイナポイント申請時の伸び率や職員配置などを考慮し、対応可能な5万件を目標としました。

## 討 論 (本会議)

**賛 成** 予算案には賛成であるが、マイナンバーカード取得の有無で市民の間に差をつくるより、市民に平等または困窮している市民や業者に直接届くような支援とすべきではないか。

※地域振興券プレゼントの詳細は、市広報や市ホームページをご参照ください。

## 伊賀市地区市民センター条例の一部改正

賛成多数で  
可決

住民自治協議会がより主体的にまちづくり活動に取り組めるよう、地区市民センターを<sup>(※)</sup>指定管理者制度とするか選択できるようになります(令和4年4月1日施行)

※指定管理者制度:公共施設を民間事業者等(地域団体など)が有するノウハウを活用し、その施設を管理・運営することにより、施設の設置目的をより効果的に達成するために設けられた制度

	市直営	指定管理
管理者	伊賀市	住民自治協議会
スタッフ	伊賀市職員 (会計年度任用職員)	住民自治協議会が雇用
施設の使用許可	伊賀市	住民自治協議会が行う (目的外の許可は市)
開館時間や休館日	伊賀市が決定	住民自治協議会が決定 (要協議)
管理経費	伊賀市	市からの委託料 (指定管理料)

### 質疑(委員会)

**問** 地域が、指定管理者制度を希望しているまたは希望していない理由は何か。

**答** 希望している地域は、地域の実情に応じた雇用ができること、施設の自由度が増すことなどの理由があり、希望していない地域は、契約事務や税務、職員の労務管理のノウハウがない、責任が生じるといった理由があった。

**問** 指定管理者制度を進める市の狙いは何か。

**答** 自主自立のまちづくりの理念のもと、指定管理していただくことによって、自主財源の確保や人材育成など住民自治協議会の体制強化につなげていきたいと考えている。

### 討論(本会議)

**反対** 指定管理になれば、個人情報取り扱い、公平公正な管理運営や、公金の執行についての透明性確保、守秘義務遵守などについて、行政によるモニタリングや監査がより重要になる。雇用条件も今後地域によって変わってくる。顔の見える行政であったものを住民との距離を遠ざけることとなり、行政のあり方を大きく変更することであるため反対。

**賛成** 丁寧な地域との対話や柔軟な対応を切に願い、歴史が一変する旧郡部の実状を理解し地区市民センター条例が伊賀市民全体の利益や幸せにつながる条例となることを問題提起し賛成。

## 伊賀市公民館条例の一部改正

賛成多数で  
可決

地区公民館及び分館に関する規定を削除します(令和4年4月1日施行)

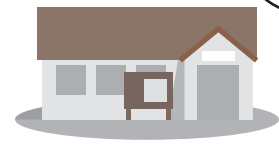
### 質疑(委員会)

**問** 地区公民館に併設されている図書館分館は、当面の間、残していくということか。

**答** 上野図書館の移転に併せて整備していきたいが、当面の間、残していく予定です。

**問** 地区市民センターに生涯学習支援員を配置するなどの新しい体制について、地域を回って説明をした際には、どんな声があったか。

**答** 生涯学習が、公民館教室とイコールと考えている声があったが、生涯学習の範囲を改めて説明し、理解を得ました。



### 討論(委員会)

**賛成** 地区市民センターが、全ての社会教育活動を包含したひとつの拠点として住民に使われていくということが担保されるよう、伊賀市地区市民センター条例の中に組み込んでいくことを求める。

**反対** 地区公民館を廃止することで、市民の自由な学びを将来的に脅かす危険をはらんでいる。また、地区公民館が廃止されれば、図書館分館は将来的に廃止される流れとなるはずで、市民や子どもたちにとって、学びの機会の損失となる。

### 討論(本会議)

**反対** 現在の公民館が教育委員会の所管から外されれば、教育委員会の形骸化を招いたり、教育の自主性や独立性の担保が保証されるのか疑問を持たざるを得ない。また、これまで公民館が果たしてきた役割と不十分だった点を総括しないままに、活動拠点を地区市民センターに移し生涯学習支援員を配置しても、その役割を十分に果たせるのかといった心配の意見も寄せられている。

伊賀市子どもたちを交通事故から守る条例の制定

賛成少数で  
否決

子どもたちを交通事故から守る交通安全施設の整備などの対策の計画を策定し、計画を推進し、整備を完遂するためにこの条例を制定したい

**問** パブリックコメントの実施は必要ないという考えはどのような意図か。

**答** 関係者は、伊賀市をはじめ県・国・公安委員会などの団体で、自治協、自治会やPTAである。これまでと何ら変わらない。また、この条例はそれらの情報を一元化して、計画的に速やかに整備するためである。市民に広く不利益をもたらす危険性、不利益な行動を強いる内容ではないことからパブリックコメントは必要ないと考えている。

**問** 伊賀市交通安全条例があり、包括的に色んな年齢の方々に対応する条例があるが、特に発議を提案する理由は何か。

**答** 交通安全条例は理念条例であり、今回の提案条例は具体的な条例としている。特出した方が市民や関係者に分かりやすいと考えた。

討 論 (本会議)

**賛 成** 行政が市民の意見を的確かつ計画的に改善していれば、守れる命があったと思う。中心市街地では道路と車道の境がない。白線が消えている、キッズゾーン等の表示がない。要望しても予算がないということで終わることもある。行政等で要望を聞き取り、危険箇所のランク付けを行い、形にするシステムを構築するべき。

**反 対** 趣旨や目的には賛同し、課題としてとらえるが、本定例会中の制定には、時間が不足し、不十分な条例となる恐れがある。継続的な政策討論会が提案されたが、提案者は本会期中での提案を主張され政策討論会が困難な状態となった。必要であれば交通安全条例や通学路交通安全プログラムの改定を検討する事でも対応できる。また、市民にも意見を聞く必要があり、条例制定の段階には至っていないと考える。

**反 対** 議会での議論がなされてなく、時期尚早であるとする。議員自らで現場調査、関係団体やボランティアなどからの聴き取り、また行政関係部局からのヒアリングなどを基に議員間議論し中間案をまとめ、市民意見を聞くことなどがプロセスであるとする。

**賛 成** パブリックコメントの必要性、より良い条例案をつくる等、反対意見があるが、子どもの命を守ることよりも議会の対面とか、議会のルールを重視しているようにしか聞こえない。子どもの命と議会のコップの話と比較したときに子供の命が重いと考える。

**反 対** 政策討論会を求めたということは、議会で条例を作るということでの提案であったと思う。賛成討論にはそれを議会のルールを軽視したような発言があったと思う。子どもの命を交通事故から守るのは、皆が同じ思いを持っている。行政ともしっかりと議論し手続きをすることが大事であり、議会ルールを軽視するような意見は承服しかねる。

伊賀市の子どもたちをはじめ市民の事故や怪我を未然に防止すること及び通学路における危険箇所の早期改善・改修を目指す決議

全員賛成で  
可決

伊賀市議会は、「子どもは伊賀市の宝」といった考えのもと、すべての伊賀市の子どもたちをはじめ市民の事故や怪我を未然に防ぎ、また、通学路の危険箇所の早期改善・改修に全力で取り組んでいきたい

**問** 先ほど提案した条例と重複した内容があるが、反対した後になぜこの決議を提出したのか。

**答** 先ほどの条例も一定の理解をしている。しかし、議員間での合意形成のないまま不完全なところで結果否決された。条例と決議は種類が違い、伊賀市議会として、交通安全について取り組んでいくという姿勢をみせるためである。

**問** 事故はいつ起こるか分からないことから、早急にと言い条例を提出したが、議員間の合意形成がなされていないということは、命を守る観点よりも議会という箱を重視したともとれるがどうか。

**答** 伊賀市では交通安全に積極的に取り組んでおり、危険箇所プログラムも実施し、年々成果もでていいる。市、地域のボランティアの方々等も活動してくれている。一生懸命やっておられる中で、議会としての決意表明である。

**問** 具体的な取り組みはどういったものか。

**答** 条例制定もひとつではあるが、事故やけがを未然に防ぐ取り組みでセーフコミュニティとして取り組むのも一つの手段であるとする。

討 論 (本会議)

**賛 成** 子どもたちの命を守ることに對し、今後も議員で協力し、伊賀市の子どもたち、市民を守ることが、我々の責任である。

**賛 成** 今後、議員間議論を進めることを期待して賛成。

新型コロナウイルス感染症追加対策、令和5年4月に統合を進めている上野南部地区小学校区の統合先である依那古小学校の改修設計費などの予算を計上します

【補正予算の主なもの】

● <b>新型コロナウイルス感染症対策に係る施設整備など</b>	
公立、私立保育所（園）の感染防止対策のための経費	1,862万円
中瀬、三訪小学校の音楽教室に空調機器を整備するための経費	774万4千円
クレジット決済等の新規納税システム導入経費	962万6千円
● <b>地区市民センター施設改修工事費</b>	
生涯学習推進体制の再編による玉滝地区市民センター事務所の拡張工事費	79万2千円
● <b>庁舎移転経費</b>	
青山支所移転に伴い文化財課の歴史資料等を旧長田小学校へ移転するための経費	764万3千円
● <b>ごみ収集経費</b>	
一般廃棄物の収集・運搬等を見直すための業務委託料	498万7千円
● <b>不妊治療等助成費用</b>	
所得制限がなくなり申請件数が増加した不妊治療助成金	244万5千円
● <b>依那古小学校大規模改造事業</b>	
上野南部地区小学校区の統合先である依那古小学校の改修設計費	948万8千円
● <b>基金積立金</b>	
令和2年度剰余金の1/2相当を財政調整基金へ積み立て	1億8,920万円

※前年度の剰余金は、法律により1/2以上を積み立てるか地方債の繰上償還に充てるのが義務付けられています。

質疑（委員会）

- 問** 一般廃棄物の収集・運搬業務見直しの具体的な内容は。
- 答** 今まで収集していなかった祝日も収集していくための業務見直し等をコンサル業務として委託をします。
- 問** 小中学校の音楽室など、特別教室における空調設備の設置率と今後の設置計画は。
- 答** 小学校約69%、中学校約81%の設置率で、整備計画はないが財源確保に努めて設置していきます。

討論（本会議）

**賛成** 小中学校の特別教室における空調設備の設置率が早急に100%となるよう、財源確保に努めて計画的に整備されることを要望します。

請願

成人式の対象年齢及び日程変更

**請願者** 伊賀市の未来を考える勉強会 竹島義徳  
**紹介議員** 森中秀哲、川上善幸、北森徹、宮崎栄樹、上田宗久、近森正利、中谷一彦、百上真奈

**請願要旨** 18歳成人式の日程を、従来通りの20歳になる年度の1月に戻してほしい

質疑（委員会）

- 問** 方針を決めるまでのプロセスは。
- 答** 令和元年12月の一般質問で表明して以降、さまざまな観点から検討を重ねた結果、民法改正を根拠に、成人式を社会教育の一環として捉え市が決定することとし、令和3年1月7日の総合政策会議で決定しました。

討論（委員会）

**賛成** 民法改正に伴って市長が決定したということは分かるが、当事者である高校生の意見を聞かずに進んでいくことはあってはならないことで、署名活動をしていることも踏まえ、皆さんが楽しみ、全員でお祝いをできる成人式となることを望む。

討論（本会議）

**賛成** 18歳か20歳かという部分に議論を矮小化せずに、行政がなぜ成人式を行うのかという意義の認識を明確にしたうえで、その意義にふさわしい時期と従来の式典という形にこだわらない方法も含めて議論を進めてほしい。新成人が伊賀市とのつながりをいかに作り、どう行動してほしいのかという観点からまず議論されるべきであると考えます。

**賛成** 未来ある高校生たちが中心となって、自発的に署名活動や地域紙への投稿などを行い、署名の数も6,000名を超えているということで、この民意の重さと意思を尊重すべき。

- 義務教育費国庫負担制度の充実を求めること
- 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めること
- 子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めること
- 防災対策の充実を求めること

請願者 伊賀市PTA連合会 会長 甲斐征之 ほか2名  
紹介議員 北森徹、宮崎栄樹、山下典子、上田宗久、中岡久徳

4件の請願採択後、それぞれの意見書を国の機関等へ提出する発議が提出され、いずれも全員賛成で可決されました。

■意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣  
内閣府特命担当大臣 防災担当（防災対策の充実を求めることに関してのみ）

### 審議した議案と各議員の賛否

#### 臨時会（8/17）

議長は採決に入っていません

#### 全員賛成で可決した議案

市長提出議案	●令和3年度伊賀市一般会計補正予算（第5号）
--------	------------------------

#### 9月定例会

○：賛成 ×：反対 ー：採決に入っていません

件名	賛成	反対	議決結果	金井敏行	北山太加規	西條工リ子	西田方計	濱瀬達雄	増田雄	森中秀哲	川上善幸	北森徹	西口和成	福岡正康	宮崎栄樹	桃井弘子	山下典子	市川岳人	赤堀久美	田中覚	上田宗久	近森正利	中谷一彦	百上真奈	中岡久徳	
請願 成人式の対象年齢及び日程変更	20	1	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
市長提出議案	伊賀市地区市民センター条例の一部改正	18	3	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	伊賀市公民館条例の一部改正	19	2	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出	17	4	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	伊賀市子どもたちを交通事故から守る条例の制定	5	16	否決	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×

#### 全員賛成で可決（同意・採択を含む）した議案

請願	<ul style="list-style-type: none"> <li>●義務教育費国庫負担制度の充実を求めること</li> <li>●子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めること</li> <li>●防災対策の充実を求めること</li> </ul>
市長提出議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>●令和3年度伊賀市一般会計補正予算（第6号）</li> <li>●伊賀市多文化共生推進プラン委員会条例の制定</li> <li>●伊賀市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正</li> <li>●損害賠償の額を定め、和解すること</li> <li>●人権擁護委員候補者の推薦（内田 香代氏、山森 裕美子氏）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●伊賀市自治基本条例審議会条例の制定</li> <li>●伊賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正</li> <li>●伊賀市人・農地プラン検討会議設置条例の一部改正</li> <li>●災害対応特殊消防ポンプ自動車の買入れ</li> </ul>
議員提出議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>●義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書の提出</li> <li>●子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書の提出</li> <li>●伊賀市子どもたちをはじめ市民の事故や怪我を未然に防止すること及び通学路における危険箇所の早期改善・改修を目指す決議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出</li> <li>●防災対策の充実を求める意見書の提出</li> </ul>



# 一般質問

## 市政を問う

従来の質問時間45分間を30分間に短縮

9月定例会の一般質問は、緊急事態宣言発令による新型コロナウイルス感染症への対応等のため、質問議員数を会派の半数以内とし、また、密を避けるため、議場での出席議員を半数程度にし、入れ替え制にしました。一般質問について主なものを掲載しています。

西田 方計 議員

### 質問項目

- コロナ後を見据えた学校教育環境の整備
- 地域づくりのためにできる手だて



### 問 新しい生活様式にそった教育環境づくりを

学校は子どもたちの学習と生活の場、かつ指定避難所です。感染症や衛生対策として、水道の自動水栓、網戸、電気掃除機などを整備してください。

### 答 便器の洋式化などとともに、子どもたちが安心して学べる環境づくりに努めます

### 問 地域振興・支援を進める方策は

来年度から地域振興を一元的に扱い、「伊賀流自治」を推進するための部を新設し、「地域担当職員」を配置します

「自治基本条例」の下で、市民・自治協・行政が総がかりで持続可能なまちづくりをめざします。残る下半期、市は地域づくりのパートナーとして相談を深め、来年度に向け補助金の活用の提案などを行います。

### 問 地域に「社会教育」を熟知した人材の配置を

市全域の均衡をとり各自治協で生涯学習を進めていけるよう人材を考慮し、「生涯学習支援員」を配置していきます

田中 覚 議員

### 質問項目

- 伊賀市政への信頼度(その2)



### 問 令和2年度の決算資料から、市税収入、個人と法人で2億1,700万円マイナスとなりました。第3次基本計画に、伊賀らしさと記載されていますが、「仏を作って魂を入れず」と危惧します

子どもを主語に置いた総合政策や子どもを主管するセクションとして具体的に所管するセクションの構想が必要です。

また、関係人口への取り組みが希薄です。ふるさと納税にとどまらず、大阪万博、天正伊賀の乱、大阪湾までの流域、関西伊賀人会などに、ゆかりやつながり、または連携を提案します。

### 答 ご指摘の点は大変重要なことと認識しています

将来を担う子どもの対応は、市の各部署に分かれているので、まとめて「子ども局」というものが必要になってくるのか精査が重要です。

また、関係人口については、伊賀を愛してくれるファンを創り出し、増加につなげていきたいと考えます。

森中 秀哲 議員

### 質問項目

- 性の多様性・パートナーシップ宣誓制度の条例化
- 戦略的な広報に向けた、新たな「秘書広報課」の役割



### 問 全国3番目に実現した「パートナーシップ宣誓制度」、早期の条例化を

宣誓に基づき市が性的マイノリティを含むカップルをパートナーと認める「パートナーシップ宣誓制度」。5年前、伊賀市が全国3番目に導入しました。全国をリードする自治体として、早期に「性の多様性に関する条例」の制定を進めるべきではありませんか。

### 答 可及的速やかな条例化を検討しています

当事者・有識者等の意見も聞き、「性の多様性に関する条例」として可及的速やかに実現するよう検討しています。

### 問 きちんと伝わり、市民の行動を促す、より戦略的な広報を

来年度から広聴広報機能が総務部所管となります。多様な媒体での市の発信について、市民にきちんと届き適切な行動を促せるよう、現状の検証と戦略が必要です。民間の専門知識活用も含め、新組織でどう取り組みますか。

### 答 市民のニーズを把握し、よりわかりやすい広報を展開します

市広報とweb、行政チャンネルとYouTubeなど媒体横断的取り組みを進めています。今後、民間アドバイザーの知見も活かし、まず「広報いが」の質的向上に努めます。

# 一般質問

山下典子 議員

## 質問項目

- 福祉政策
- 新型コロナウイルス感染症の宿泊療養
- DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進



### 問 介護人材確保の取組は

国によると2025年に必要とされる介護人材は、約243万人と推定されています。伊賀市の介護人材確保の取組は。

### 答 貸付事業の周知及び待遇改善、業務負担の軽減に取り組みます

貸付後に介護職員等として業務に2年間勤務することで返済が全額免除される再就職準備金貸付事業・介護分野就職支援金貸付事業を周知し、待遇改善を目的とした加算制度の活用や介護ロボットの導入を進めています。

### 問 デジタル技術を使った一人暮らし高齢者の見守りは

自治体からのお知らせを読み上げたり、生活状況を遠方の家族へ通知する機能をもつAIスピーカー導入の考えは。

### 答 他の自治体の成果を研究します

人の音声を認識して暮らしをサポートするAIスピーカーの活用による市民サービスの実現は、見守りや防災という観点から効果的な役割を果たせるものと考えますので、関係部署と連携し調査・研究を進めます。

福岡正康 議員

## 質問項目

- これからの自治協・市民センターのあり方



### 問 これからの住民自治協議会・地区市民センターのあり方は

自治基本条例の理念を踏まえた住民自治協議会の要件はどうなっていますか。組織の設置目的で自治協は「宗教活動や政治活動を目的とするものでないこと」を改正ではどうしますか。

また、住民自治協議会をより望ましい組織とし、会長の身分、リーダーシップ等をよりよく確立するため、任期を複数年にしたり、包括交付金の算定時に、会長の年俸を50万円以上に積算するなど、包括交付金を増額できませんか。

### 答 住民自治協議会の規定については、自治基本条例の理念に基づいたものです

宗教活動、政治活動の部分については、公共的民主的な組織として、相反するものと考え、この条例が関連する条例での記載が必要か検討します。望ましい組織にするため、研修の実施や、地域担当職員の配置を検討していますが、包括交付金は令和5年度までは、現算出方法で交付します。

増田雄 議員

## 質問項目

- にぎわい忍者回廊創出プロジェクト



### 問 旧上野ふれあいプラザが単体で利活用されますが、市としてのエリアマネジメントは

### 答 回遊性が高まる店舗づくりを

旧上野ふれあいプラザの事業者が正式に決まりましたら、地域住民の日常食料品に加え、地元物産の取り扱いや観光客の休憩施設の設置など、回遊性が高まるような店舗づくりをお願いしていきます。

### 問 貴重資料の一元管理を

### 答 今後、一元管理を検討します

旧上野市庁舎の交流型図書館へ移転します上野図書館の貴重資料と歴史資料系の古

文書資料は、同列に扱うものもあり、利用者の利便性などから、一元管理を検討します。

### 問 まちなかエリアの拠点は

### 答 みんなが一丸となっておもてなしを

見どころはたくさんありますが、住民・お店の熱意とともに、まちなか全体がうろうものと考えます。

# 一般質問

百上 真奈 議員

## 質問項目

- 新型コロナウイルス感染症急拡大への対応
- 国民健康保険・後期高齢者医療におけるコロナ対策
- 学校における新型コロナウイルス感染症対策



### 問 国保税のコロナ特例減免対象拡大と事業主に傷病手当の適用を

伊賀市では、コロナ禍の今年、来年と国民健康保険税が引き上げられ、加入者には重い負担になります。

国保税等のコロナ特例減免が延長されましたが、国基準は前年度の事業収入に持続化給付金等を含めないため、減免対象からはずれる懸念があります。市独自で持続化給付金を含める要件にして減免対象を広げ、厳しい経営の事業者を支援してください。

また、国の地方創生臨時交付金や市のコロナ対策基金を活用して、コロナに感染し

たり濃厚接触者になり働けない個人事業主にも傷病手当を適用してください。

### 答 どちらも考えていません

国保税のコロナ減免基準は、国と同じ考え方により減免対象を広げることは考えていません。

また、事業主には資金繰りなど別の制度があること等により、国の考え方と同様に傷病手当の適用は考えていません。

上田 宗久 議員

## 質問項目

- 伊賀市の新型コロナウイルス感染者増と自宅療養者への対応
- 国道368号線の4車線化・大内橋架け替え工事の見通し



### 問 県からのコロナ病床確保要請に対して上野総合市民病院はどう対応されますか

8月30日県知事より県下の自治体病院と民間病院94病院すべてに、感染症法に基づくコロナ病床確保の協力要請がありました。本市でも自宅療養者は増えています。市民病院はどう対応されますか。

### 答 要請に応える方向性を探っていきます

一般患者と完全に分離できる施設構造や、感染症に関するスキルや経験を有する人材が必要となりますので、直ちに対応することが難しいです。専門的な機関にも意見を聞きながら、方向性を探りたいです。

### 問 国道368号の大内橋架け替え工事は、令和4年9月の岡波総合病院の竣工時まで完成しますか

### 答 今しばらく時間がかかるようで早期完成を要望していきます

名阪国道上野インター改良工事と大内橋架け替え工事終了までは今しばらく時間を要すると聞いております。県に早期完成を要望していきます。

中谷 一彦 議員

## 質問項目

- 行政財産目的外使用の使用料及び条件
- 伊賀市浄化センターの稼働状況



### 問 行政財産目的外使用で賃借している施設修繕費を事業者負担にする理由、大規模修繕について伊賀市の考え方は

### 答 介護デイサービス事業は収益事業であるため、当該事業のみで利用している施設の修繕費は事業者負担です

通常、躯体及び付属設備の大規模修繕は貸主負担ですが、当該修繕を行うにあたり、伊賀市のデイサービス事業が足りているのか、不足しているかが判断基準となります。

### 問 伊賀市浄化センターの処理能力と有事における対応について

処理能力一日170klと記載されているが2021年3月は6,218klも搬入し貯留槽等の能力は。

### 答 最大処理能力を190klまで上げることができます。また貯留槽や予備貯留槽で1,200kl調整できます

設備故障など有事の際は、施設敷地内の旧施設の貯留槽を残しているので活用する予定です。

# 一般質問

西口 和成 議員

## 質問項目

- 伊賀米の振興
- 岡本市政に求められていること



**問** 市が単独で行っている補助金制度を精査していかないのですか

農業者の高齢化や後継者不足に加え、米価の下落で離農者が増え、集落営農についても肥料の高騰や農業機械の高額化で経営が厳しい状況になってきています。

**答** 補助率が高く農業経営体に有利な国・県の支援制度を活用できる組織の育成や市単独事業の補助率についても検討していきます

近年の農業機械は効率化・高機能化が進み、スマート農業を含め機器が高額化する傾向にあり、導入時の金銭的負担が大きくなっています。

**問** 「伊賀米の日」を制定してはどうですか

**答** 「伊賀米の日」の制定は、伊賀米のPR並びに販売促進につながるものと考えます

JAいがふるさと、三重県、名張市などで組織する伊賀米振興協議会で検討していきます。

**問** 市民の声に真摯に耳を傾けていただけるのですか

**答** 基本そのとおりですが、寄り添うという中には、すべてを肯定する意味ではありません。思い違いや間違いがあればしっかりと訂正していきます。(市長)

北山 太加視 議員

## 質問項目

- 防災に対する備え
- 事故多発地点の通学路安全対策



**問** 山地災害危険地域の避難基準はどうなる

地すべり監視システムの避難基準を残せませんか。

**答** 今後も基準の変更の周知に努めます

市の山地災害危険地域への避難勧告等は、災害対策基本法に基づく避難基準へ見直し、実行雨量140mmは警戒レベル4相当、90mmは警戒レベル3相当として、今後市長が発令します。

**問** 三田地区の排水ポンプ能力と予備電源確保は

過去に浸水被害のあった地域の対策状況は。

**答** 3か所の排水ポンプ場と事前配備の排水ポンプ車の合計で、1分間に122トンの排水能力を確保し、予備電源も確保できています

**問** 事故多発地点の通学路の安全対策は

**答** 伊賀市通学路交通安全プログラムにのっとり関係機関と対策に努めています

教育委員会では子どもの安全指導や見回り、道路管理者で、通学路の道路パトロールや、事故の多い交差点を洗い出し、路面表示の設置や引直しに重点的に取り組みます。

桃井 弘子 議員

## 質問項目

- おくやみ窓口・おくやみハンドブック
- SNS等による人権侵害



**問** おくやみ窓口の設置とおくやみハンドブックの作成を

死亡後の手続きの窓口を一本化し、ご遺族に親切かつ分かりやすいおくやみハンドブックを作成すべきでは。

**答** 来年度の早い時期に設置します

ワンストップ窓口の設置を検討します。手続きを分かりやすく冊子にしたいと思います。

また、ホームページでも掲載します。

**問** 子どもたちに向けこみ寺のような仕組みを早急につくるべきでは

伊賀市全体としてSNS等のいじめやもめ事は起きています。市として取り組むべきでは。

**答** 必要であればつくっていきます(市長)

ケアするのは、第1番は保護者。しっかり子ども達の異変に気付いて欲しいです。親子共々相談できる様々な切り口が必要であり、関係部局で研究し、必要であればつくっていきます。

# 一般質問

西條  
エリ子  
議員

## 質問項目

●廃校等の市有財産の  
利活用



### 問 廃校施設の現状は

校区再編により、学校の統廃合が行われ、廃校が増えてきています。現在、市が管理する廃校の数、活用状況をお伺いします。

答 教育委員会が管理する廃校施設は8か所で、公益団体や自治協議会に貸し付けたり、市の倉庫にしているところもありますが、遊休施設もあります

### 問 廃校活用はどんな方針に基づいて進められていますか

答 廃校施設の利活用方針にのっとり、利活用の優先順位、活用

手法など考慮して検討、審査を行っています

### 問 庁内において利活用の検討の場、各部との連携は

答 教育委員会だけでなく、庁内の関係する部署で構成するプロジェクトチームを設置し、廃校の売却または貸付けできる部分を調査します

売却または貸付けできる廃校の情報をホームページなどで公開し、利活用を希望する事業者を募ります。

一般質問は、9月8日、9日の2日間で、13人の議員が市の諸問題についての質問をしました。  
QRコードで市議会ホームページから「伊賀市議会チャンネル」(YouTube) をご覧いただけます。

QRコード▶



## 市長に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う要請(9月3日)

新型コロナウイルス感染症が市内で急速に拡大していることを受け、9月1日に市議会災害対策会議を開催し、今後の新型コロナウイルス感染症への対応について、早急に取り組んでいただきたい事項等をまとめ、議長から市長に要請しました。

### 【要請事項】

- 1 感染者等への支援として、伊賀市社会福祉協議会が行っている「おたがいさま便」事業に対し、支援物資や配送体制が充実するよう支援していくこと。
- 2 感染者等が待機や療養ができるよう、市内の宿泊施設等を活用した療養施設の設置について速やかに検討すること。
- 3 上記1及び2を実施するにあたっては、「三重とこわか国体・三重とこわか大会」が中止となり影響を受けている飲食店及び宿泊施設等の活用を検討していくと共に、必要な財源措置を行うこと。
- 4 小中学校におけるオンライン授業を確実に軌道に乗せ、授業に遅れが生じないように努めること。
- 5 ワクチン接種について、接種対象者別に接種方法や受付状況についての詳細な情報を議会及び市民へ随時わかりやすく示していくこと。
- 6 定例で報告のあるワクチン接種状況に加え、新型コロナウイルス感染症に関する各種情報の報告を求める。また、併せて市民にも必要な情報を速やかに提供していくこと。
- 7 新型コロナウイルス感染症対策及び議会や市民への情報提供にあたっては、一部の部署だけに負担がかかることがないように、職員の配置や業務分担について検討し、市民の生命を守ることを最優先に職員一丸となって対応いただきたい。



## 地域意見交換会を開催しました

7/9 布引 7/28 中瀬 7/30 山田 8/19 阿波 10/12 島ヶ原

制度見直しにより中断していました議会報告会について、今年度から「地域意見交換会」として試行していくこととし、各住民自治協議会と事前にテーマを設定したうえで開催しています。

テーマや報告書、今後の開催予定については、伊賀市議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。



7/28 中瀬地区意見交換会

## 出前講座を開催しました

### 教育民生常任委員会

7/8 伊賀市の未来を考える勉強会  
テーマ：成人式について



### 教育民生常任委員会

7/29 明日の伊賀市図書館を考える会  
テーマ：図書館について



## ようこそ伊賀市議会へ!!

10/4 中瀬小学校 10/7 青山小学校 10/13 三訪小学校

市内小学校の児童のみなさんが、議場見学にこられました。

子どもたちは、議員席や市長席などに座り、事務局職員からの議会の仕組みや役割の説明を熱心に聞いていました。

市議会では、市の将来を担う子どもたちに議会を身近に感じてもらうため、議場見学を積極的に受け入れています。小中学校の社会見学として普段なかなか見ることのできない議場を訪れてみませんか。



10/4 中瀬小学校のみなさん

## 「伊賀市議会LINE公式アカウント」開設!

伊賀市議会では、より一層の広報活動の充実を図るため、伊賀市議会LINE公式アカウントを開設し、伊賀市議会に関する情報を発信しています。**ぜひ「友だち追加」をお願いします!**

運用方針等は、伊賀市議会ホームページに掲載しています。本アカウントのご利用にあたっては、運用方針の内容に合意のうえ、ご利用くださいますようお願いいたします。

### 主な配信内容

- ・本会議に関すること。
- ・委員会等に関すること。
- ・市議会だよりに関すること。
- ・市議会からのお知らせ。

### アカウント情報等

- (1) ソーシャルメディアサービス名：LINE
- (2) LINE表示名：伊賀市議会
- (3) LINE ID：@441kjazj

### 友だち追加方法

スマートフォンなどにLINEアプリをインストールして、次のいずれかの方法で「友だち追加」してください。

- ・方法1：メニューの「友だち追加」で「ID検索」を選択して、「@441kjazj」と入力して検索
- ・方法2：QRコードを読み込んで「友だち追加」



友だち追加QRコード

## 令和3年12月定例会日程 (予定)

12月1日(水)	本会議(開会)
8日(水)	本会議(一般質問)
9日(木)	本会議(一般質問)
10日(金)	本会議(一般質問)
13日(月)	本会議(一般質問)
15日(水)	予算・決算を除く 各常任委員会
16日(木)	予算・決算を除く 各常任委員会
17日(金)	予算常任委員会
23日(木)	本会議(閉会)

※本会議と予算常任委員会は、午前10時から始まります。  
※その他の各常任委員会は、開会日に決定します。  
※定例会の日程は、変更になる場合があります。

## ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送、YouTubeをご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局

「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

ホームページ <http://www.city.iga.lg.jp>

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を希望される場合は、上記までお問い合わせください。



## 会議の内容を閲覧できます

市議会本会議等の会議録は、伊賀市ホームページや議会図書室(冊子)でご覧いただけます。

令和3年9月定例会の会議録は12月1日以降となります。

また、会議の様子は、YouTubeにて録画配信もしています。

ぜひチャンネル登録をお願いします。

「伊賀市議会チャンネル」  
(YouTube) はこちら⇒  
(伊賀市議会ホームページ内)



## 議会の傍聴に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、議場、委員会室及び全員協議会室で開催される会議の傍聴は、下記の感染防止対策にご協力をお願いいたします。

なお、市議会(本会議・予算常任委員会)の様子は、行政チャンネル(ケーブルテレビ)で放送しますので、できる限りそちらでの視聴をお願いいたします。

- (1) 傍聴受付での非接触型温度計による体温測定へのご協力
- (2) マスクの着用と咳エチケット、手洗い・手指消毒の徹底
- (3) 傍聴席において、他の傍聴者と間隔を空けての着席
- (4) 当日の朝、自宅での検温で熱(37.5℃以上)がある場合や、体調不良(だるい、咳が出るなど)の場合は、傍聴をお控えください。

## 編集 後記

今回の「笑顔が進む!ココロをつなぐ!」では、普段のお仕事とは別に休日にイベントを通じて地域の活性化や子どもたちのために活躍している方を取材しました。言うは易く行うは難しと言いますが、思いを行動に移し継続されていることに頭が下がります。昔のように地域に活力が戻り、子どもたちの笑顔があふれるようになればいいなと取材を通じて感じました。

天災ともいえる新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し、多くの方々に議会の傍聴に来ていただけることを一日千秋の思いで待っています。(濱瀬)

次号は2月1日です

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報広聴委員会

# 笑顔で進む！ ココロをつなぐ！！

伊賀の未来をつなぐ、笑顔で元気な人取材するコーナー第2弾は、子どもの笑顔を楽しみに週末、たこ焼き屋を出店している「たこ焼き とも」代表 やまもと たけし 山本 猛さん取材しました。(取材日：8月22日 取材場所：手づくりマルシェ「山の学校市場 in 博要の丘」)



## — 平日はサラリーマン、休日はたこ焼き屋をしていると伺いました。

### 休日を返上し、たこ焼き屋の活動を始めたきっかけは何だったのですか？

最近では地域の交流も減り、にぎわい行事もその実行者は高齢化しているように感じていました。子どもたちには地域の交流を通じて幸せな子ども時代を過ごしながら成長してほしいという思いがあり、そのために、自分のようなサラリーマンだからこそできることが何かあるのではないかと考え、この活動を始めました。



やまもと たけし  
山本 猛さん

## — 具体的にどのような活動をされていますか？

平日は、会社に勤務し、休日に、地域のおまつりやイベントに出店しています。子ども応援ポイントシステムという制度をつくり、たこ焼きの売り上げ1/3を、「子どもポイント」に変換し、子どもたちに還元するという活動をしています。たこ焼きの代金は大人の方からはお金を頂戴していますが、中学3年生以下の子どもたちは、お店で管理しているこの「子どもポイント」を利用し、実質無料で買う事ができます。

また、「子どもたちのために」という考えに賛同してくださる方から、寄付型クラウドファンディングのような支援金をいただき、活用しています。支援金をいただくからには、信用が大事ですから、収支をSNSで公開しています。



## — 今後の活動目標は？

今は、これが限界ですが、いつか大きなキッチンカーを購入して、移動式の地域食堂のようなことがしたいです。地域の皆さまから頂戴する「支え合い」「分かち合い」の気持ちを原資として、今後も皆さまとともに子どもたちの幸せを応援していきます。

## 山の学校市場 in 博要の丘を主催する一般社団法人社会をデザインするネットワークのしもなお しげき下猶 茂樹さんから、やまもと たけし山本 猛さんにひとこと

やまもと たけし山本 猛さんは、前向きでガッツがあり「やりましょう！」とすぐ答えが返ってきます。山本さんに甘えすぎず、これからも一緒に頑張っていきたいです。



しもなお しげき  
下猶 茂樹さん

キッチンカーの中は、鉄板の熱でとても暑く、大変な作業です。やまもと たけし山本 猛さんは、地域の協力も得ながら素晴らしい取り組みをしてくれていると思います。外はカリッと、中はトロリの美味しいたこ焼きでした。さらなる活躍を応援しています！